

清納5町会！新★会場で

3年ぶりのふれあいサロンを再開！

陣山校区社協 広報部会 中川 理洋

陣山社協では今年から5か年計画で『第一次 ふくしのまちづくり計画』を実行しています。特に、陣山社協の福祉活動の課題を解決すべく左記の重点実施項目2つを中心に活動しています。

■福祉の活動者・応援者を増やす！

(活動を継続する福祉協力員の若返り)

■いろいろな人々が集える場を増やす！

(気軽に人が集える場を確保する)

今回訪問した清納5町会は、若手の福祉協力員を7名発掘し、それぞれ仕事をされながら活動されている」とにも感謝です。

従来のサロンは、市営団地の集会所を利用していましたが、最近集会所が閉所されたため、困り果てていました。

この度、町内の双葉学園みのり様より会場提供の「協力をいただきふれあいサロンを開催することができました。

よく晴れ渡った十一月二十七日(日)午前双葉学園みのりでのサロンが始まります。

本日は「カラーサンドアート」を作りながら楽しいひと時を過ごしました。

今回のカラーサンドアートは、ガラスの中に、色とりどりの砂層を作り、可愛らしい造花をさして参加者独自の花瓶に仕上げます。材料は、すべて百均手配で参加者が徐々に増えたため、何度も買い足しに走ったそうです。「でも若い人のパワーを感じます。

各机に二〜三名座り、自分の好きな材料を選んで福祉協力員のもと製作を楽しみます。

早い人で二〇分、遅い人でも三〇分！

製作が終わると3年ぶりの懐かしい顔と顔で会話が尽きません。

(換気、検温、手指消毒、マスク着用で！)

予定していた一時間があつという間でした。

帰りには、自作したサンドアートとお弁当を片手に「可愛いねークリスマスや正月に飾れるねー」などの声も飛び交っていました。

何人かは、車での送迎を利用されました。

参加できなかった方には、サロン終了後に「自宅を訪問しサンドアートをお届けしながら、近況などお聞きしました。

若返りつつある福祉協力員と新しいふれあいサロンの会場での活動は、今後楽しみみです。

十二月十七日にスタッフの「反省会」を開くとのことですが、きつと次回のサロン企画が話題の中心になることは間違いないでしょう！

スタッフの皆さん！お疲れさまでした！

双葉学園みのりの皆さまー！

「協力ありがとうございました。」

★対象者：二十五名 ★参加者：十八名

★スタッフ：八名

(※)注記：陣山社協では、集える場所を増やすためにほかの団地、学校および各企業と交渉を行っています。(